

## 第53次派遣海賊対処行動水上部隊 護衛艦「ゆうだち」出国行事

1月28日に第53次派遣海賊対処行動水上部隊護衛艦「ゆうだち」の出国行事が大湊地区総監部（青森県むつ市）にて挙行され、来賓として全日本海員組合からは齋藤洋中央執行委員、大山浩邦外航部長、外航の職場委員代表としてNYK Energy Ocean株式会社の牧野綜太職場委員、ENEOS オーシャン株式会社の廣中楽大職場委員が出席し、船員の安全を守る活動へ感謝を伝えた。

護衛艦「ゆうだち」には堤敏雄艦長をはじめ、第53次ソマリア周辺海域派遣捜査隊を編成する久木田修身隊長以下、海上保安官8人を含めた約200人が乗り組み、現在活動中の第52次隊の護衛艦「おおなみ」と交代し、約半年間におよぶ任務に就く予定としている。

式典では、混迷する国際情勢と海賊行為の増加傾向を踏まえ、任務の完遂、無事の帰国と元気な姿で再会することを祈念する旨の大町克士自衛艦隊司令官の訓辞を伍賀祥裕護衛艦隊司令官が代読した。

また、彼末浩明海上保安監から同乗する海上保安部隊員に対して、任務の重要性と苦勞を押し量ったうえで最大限の成果を発揮するよう期待する旨のあいさつを述べて、これから長期におよぶ任務に就く隊員たちを激励した。

出国行事式典の来賓紹介で紹介された齋藤中央執行委員は、出港する海上自衛官と海上保安官へ、洋上での無事を祈念するとともに日本商船隊の護衛任務に対する感謝を伝えた。式典終了後に護衛艦「ゆうだち」に乗組員一同が乗艦し、大湊地区総監部内の岸壁から出港する護衛艦「ゆうだち」を乗員のご家族と共に見送った。

「海員だより」